

ログミーfinance

# 個人投資家向けIRセミナー

2022年8月20日



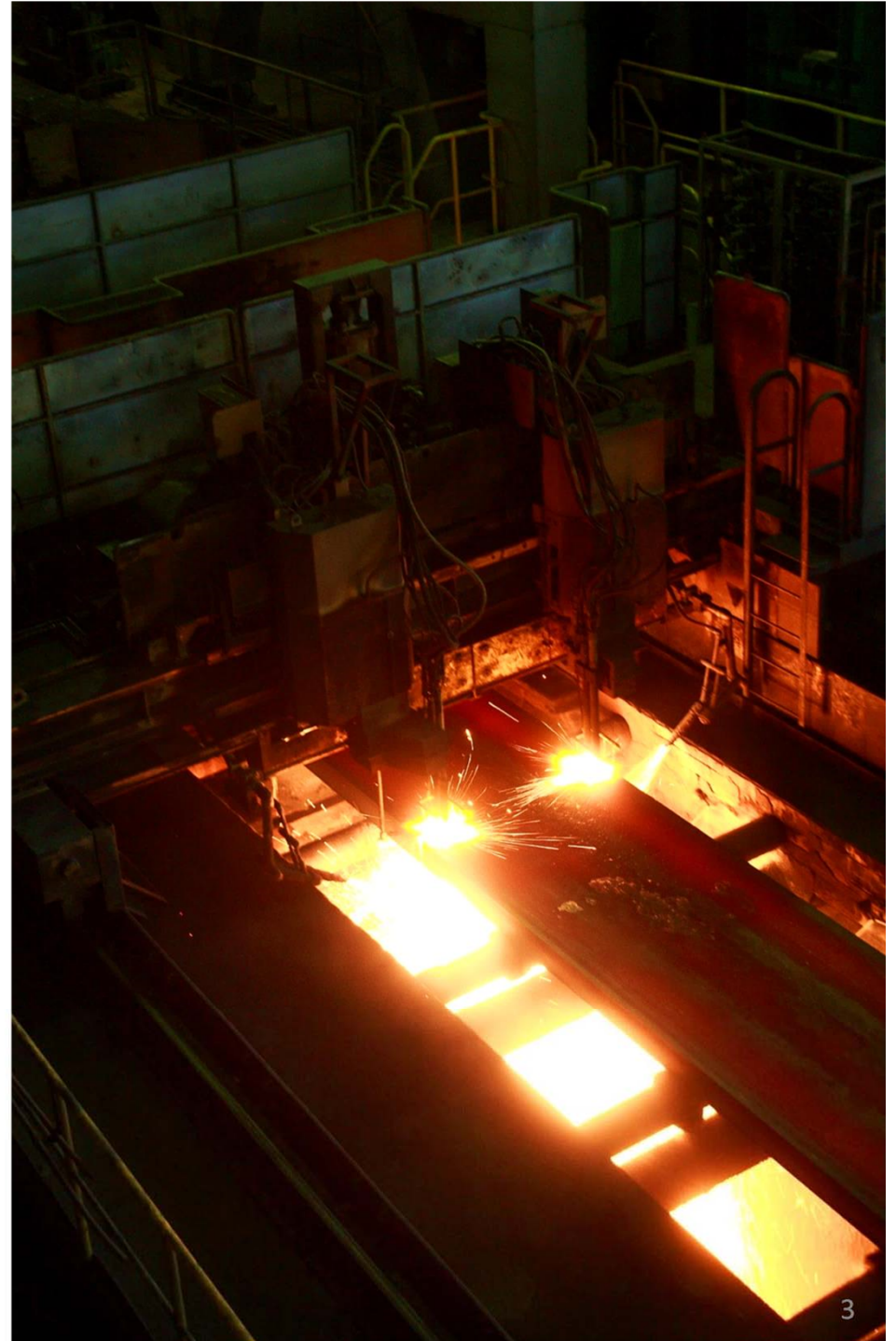
証券コード：5461

# 目次

1. 中部鋼板の概要
2. 中部鋼板の特色
3. 成長戦略・サステナビリティ課題への取組み
4. 経営実績および業績見通し
5. 株式情報



# 1. 中部鋼板の概要



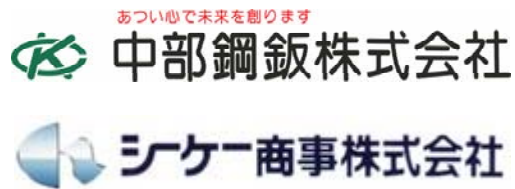
# 会社概要

<b>社名</b>	中部鋼板株式会社
<b>業種</b>	鉄鋼業(主に厚鋼板の製造販売)
<b>設立年月日</b>	1950(昭和25)年2月15日
<b>本社所在地</b>	愛知県名古屋市中川区小碓通5丁目1番地
<b>資本金</b>	59億700万円
<b>代表者名</b>	重松 久美男
<b>上場取引所</b>	名古屋証券取引所 プレミア市場(証券コード 5461)
<b>グループ会社</b>	明德産業株式会社 シーケー商事株式会社 シーケークリーンアド株式会社 シーケー物流株式会社
<b>従業員数</b>	500名(連結：2022年3月末)



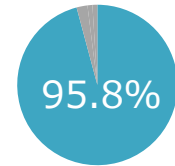
# 当社グループの事業概要

鉄鋼関連  
事業



厚鋼板の製造販売  
鋼板の加工  
鉄鋼原料・製品の仕入・  
販売

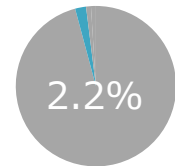
2021年度  
売上高構成比



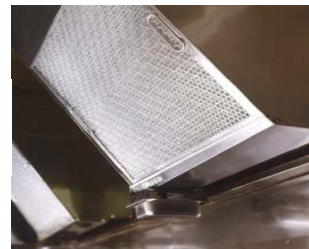
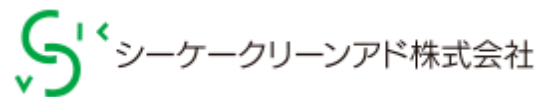
エンジニアリング  
事業



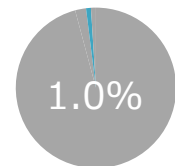
鉄鋼設備を中心とした生  
産設備等の設計、製作、  
据付、メンテナンス



レンタル  
事業



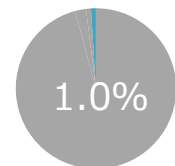
厨房用グリスフィルターの  
レンタル  
広告看板の制作

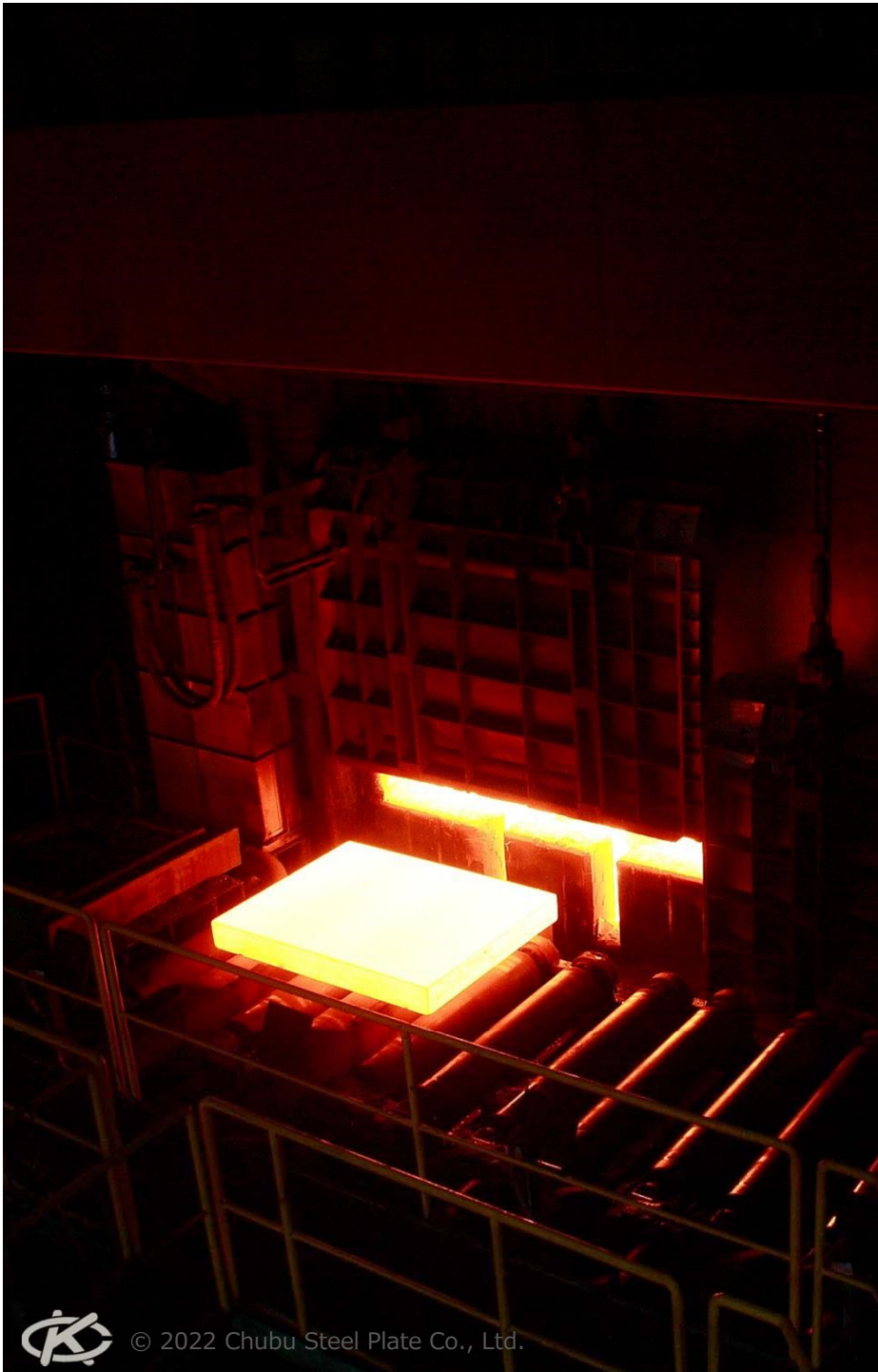


物流事業



危険物倉庫事業  
鋼板の荷役・運搬





## 2. 中部鋼板の特色



# 製鉄方法の分類と特徴

	高炉(転炉)法	電炉法
主原料	鉄鉱石・コークス	鉄スクラップ
製造工程	鉄鉱石をコークスで溶解・還元	電気炉で鉄スクラップを溶解
特徴	設備が大規模 長期間の継続稼働が前提	設備は比較的小規模 環境に応じた操業調整が容易
環境面	鉄鉱石の還元時にCO <sub>2</sub> が発生	高炉法に比べ CO <sub>2</sub> 排出量は約 4 分の 1

# 当社の製品と使用実績

## 厚板について



- ✓ 厚さ 6 mm 以上の板状の鉄鋼製品
- ✓ 需要分野は船舶、建築、土木、産業機械など幅広い
- ✓ 曲げ、切断、切削、溶接など様々に加工されるため、性能・品質に対する要求レベルは高い

⇒ 一般に **高炉品種** とされる鉄鋼製品

## 当社材使用実績





# 中部鋼板の特色

国内唯一の電炉厚板専門メーカー



効率的なレイアウトで省エネ操業を実現する  
**製鋼-圧延一貫工程**

電炉の特性を活かした柔軟な生産形態で  
**短納期・小ロット・多品種**生産を実現

レーザ切断用鋼板、被削性改良鋼板などの  
**オリジナル製品**を開発

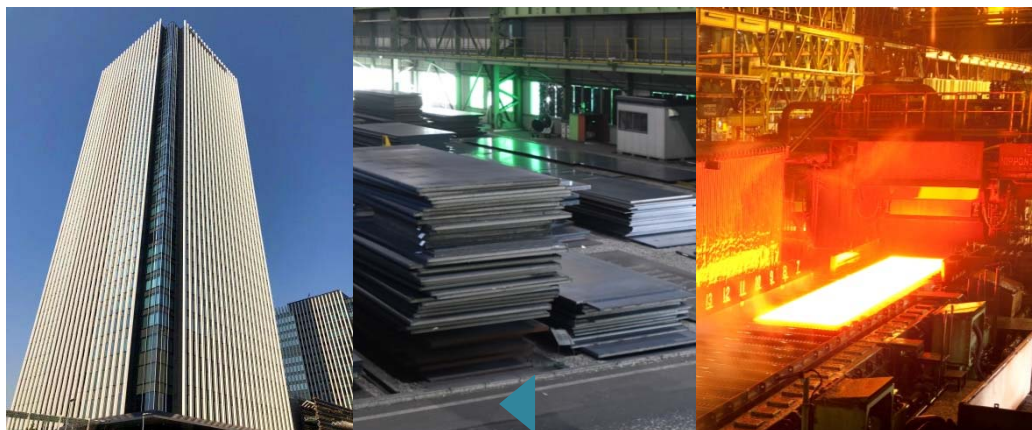
名古屋の市街地に立地する都市型製鉄所



**国内有数**の工業地帯に立地し、  
交通網・エネルギー供給などインフラも充実、  
**原材料の調達、製品出荷**に有利なポジション

積極的な環境対策投資の推進や  
敷地周辺の緑地整備、近隣住民との交流  
を通じて、**地域社会と共生**

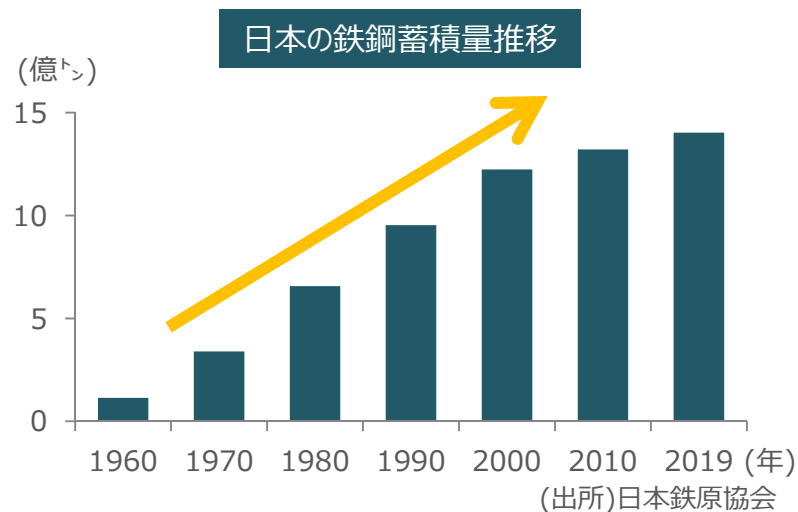
# 循環型社会への貢献



老朽化し解体された建造物などから発生する鉄スクラップは、当社の事業によって厚板として再生し、再び社会インフラを支えます

## 何度でも生まれ変わる資源 “鉄”

さまざまな形で国内に存在する“鉄”の累計蓄積量は約14億トンで現在も増加中



スクラップリサイクルによる鉄づくりは循環型社会の構築に貢献する **サステナブル**な事業です



製造工程の詳細・動画は当社HP[技術情報]へ

製鋼工程



圧延工程





### 3. 成長戦略・サステナビリティ課題への取組み

# 21中期経営計画 概要

## 基本方針

- ✓ 循環型社会への貢献（スクラップリサイクル）
- ✓ 成長戦略の推進
- ✓ 持続可能な基盤整備の推進
- ✓ ESG／SDGs課題に対する取組の強化
- ✓ (株)中山製鋼所との業務提携の推進

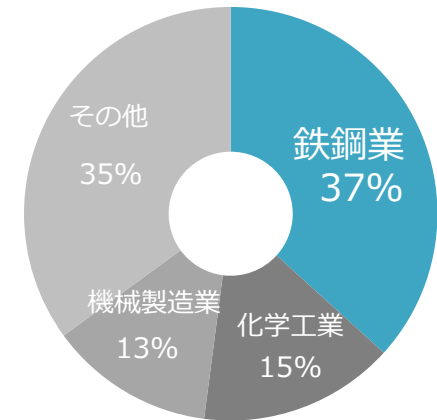


数値目標	18中期目標	18～20年度実績	21中期目標	21年度進捗率
販売数量※	60万トン	61万トン(18年度)	<b>70万トン</b>	<b>89%</b>
連結経常利益	40億円	47億円 (19年度)	<b>40億円</b>	<b>138%</b>
連結配当性向	25%	每期目標達成	<b>30%</b>	<b>105%</b>

※18中期は厚板販売量、実績・21中期目標は鉄鋼製品販売量（含むスラブ）

# 脱炭素社会へ向けた対応

目標	現状
温室効果ガス排出量(日本) 2030年度 <b>約46%減</b> (2013年度比) 2050年度 <b>実質排出ゼロ</b> (カーボンニュートラル)	国内製造業のCO <sub>2</sub> 排出量 <b>鉄鋼業が4割弱</b> を占め最多(右図)



産業部門のエネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量(2020年度)  
(出所)環境省

削減目標達成のためには  
**鉄鋼業**での削減が不可欠

**国内鉄鋼業の現状**

- ✓ 粗鋼生産量の**約4分の3**を**高炉**が占める
- ✓ 電炉のCO<sub>2</sub>排出量は高炉の**約4分の1**
- ✓ 鋼板類における高炉比率が9割超と非常に高く、**電炉比率の向上余地**を残す

施策① 製造プロセスのCO<sub>2</sub>排出削減
 +
 施策② 市場における電炉シェア向上
 →
 鉄鋼業におけるCO<sub>2</sub>排出量削減へ

# 環境対応型高効率電気炉への更新

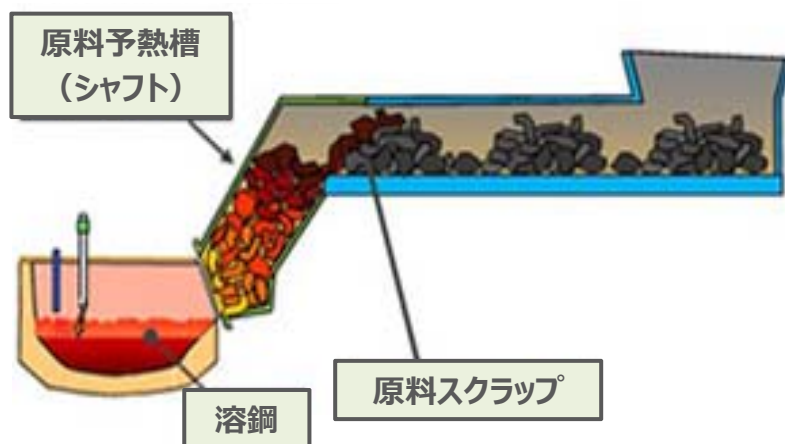
循環型社会への貢献、競争力の強化、都市型製鉄所として周辺環境に対する負荷低減を図るため、最新鋭の新電気炉導入を決定。(2023年秋稼働予定)



既設電気炉(1962年～稼働中)による作業の様子

## 新電気炉の特長

ECOARC-FIT™  Steel Plantech



既設電気炉比

電力原単位▲15%

騒音・粉じんの発生低減

生産性・歩留の向上

- ✓ 溶解時の**排熱を利用**した鉄スクラップの予熱と連続装入による**エネルギーロス低減**
- ✓ 生産性・歩留の向上による**資源の有効活用**と**コスト競争力強化**

# 厚板シェア拡大に向けて①

## 現状・今後の事業環境

鉄鋼内需の半数以上を占める関東・中部・関西エリアの中心、産業の集積地である愛知に立地

高炉メーカーの生産集約化に伴う工場閉鎖により当社が中部エリア唯一の厚板工場に



脱炭素社会に向けてユーザーの電炉鋼材へのシフトが進展

豊富なイベント需要・都市再開発案件  
⇒リニア中央新幹線、第20回アジア競技大会、大阪万博など



国土強靱化計画に基づく、インフラの拡充・老朽インフラの更新による鉄鋼需要は中長期的に継続する見込み

## 厚板シェア拡大に向けて②

### 生産能力のさらなる向上

- ✓電気炉能力アップに合わせた下工程の能力向上

### 新規ユーザー層の獲得

- ✓相対的にシェアの低い建築・土木向けユーザーの獲得
- ✓製造可能サイズ・品種の拡大と品質のさらなる改善

### 環境面での優位性アピールと認知度向上

- ✓早期に温室効果ガス排出量を算定・開示
- ✓カーボンニュートラルへ向けた中長期的なロードマップの策定

### (株)中山製鋼所との業務提携

- ✓スラブ製造受託の拡大、厚板製造受託
- ✓カーボンニュートラルに向けた協働

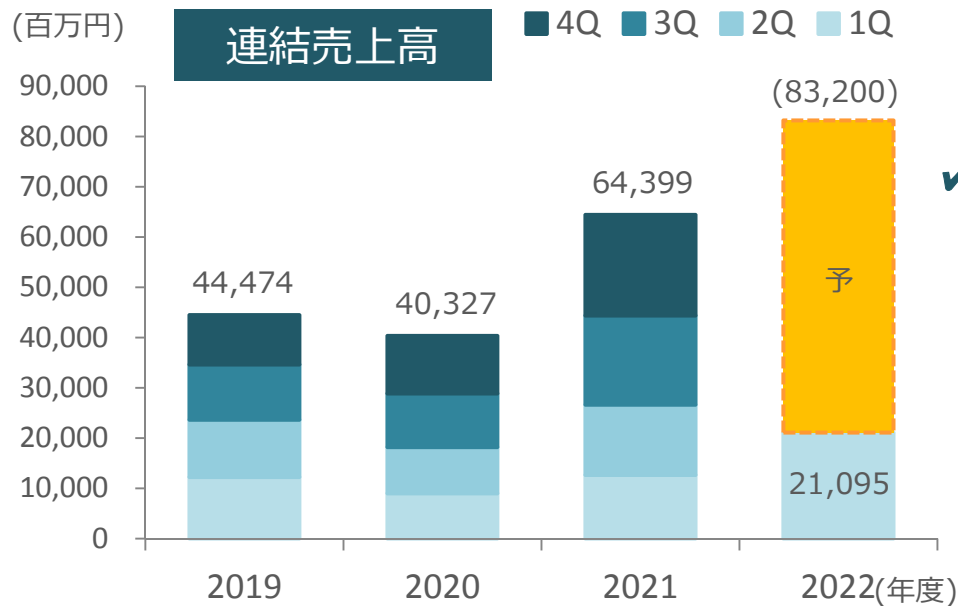




## 4. 経営実績および業績見通し

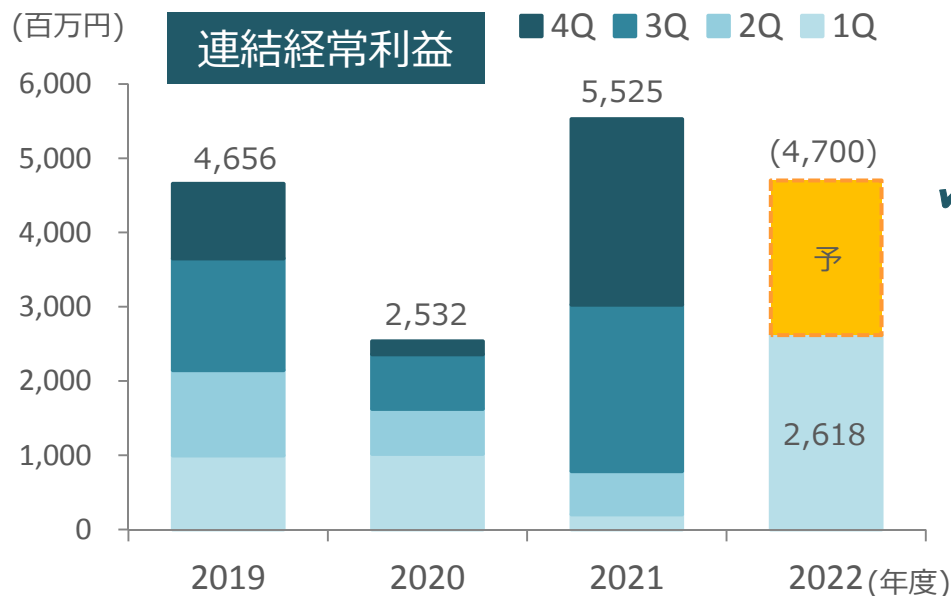


# 連結経営実績推移と今期見通し



## 【1Q実績】

- ✓ 産業機械・建設機械向け需要および建築向け需要が堅調で厚板の販売数量が前年同期比12.3%増、販売価格も継続的に取り組んできた値上げの浸透により前年同期比51.2%上昇となり大幅増収(1Qでは過去最高売上)



## 【1Q実績】

- ✓ 鉄スクラップ価格が高水準で推移、エネルギー・諸資材価格のも軒並み上昇したことによりコスト面では厳しい環境が続くも、販売価格の値上げが浸透したことで前年同期比大幅増益



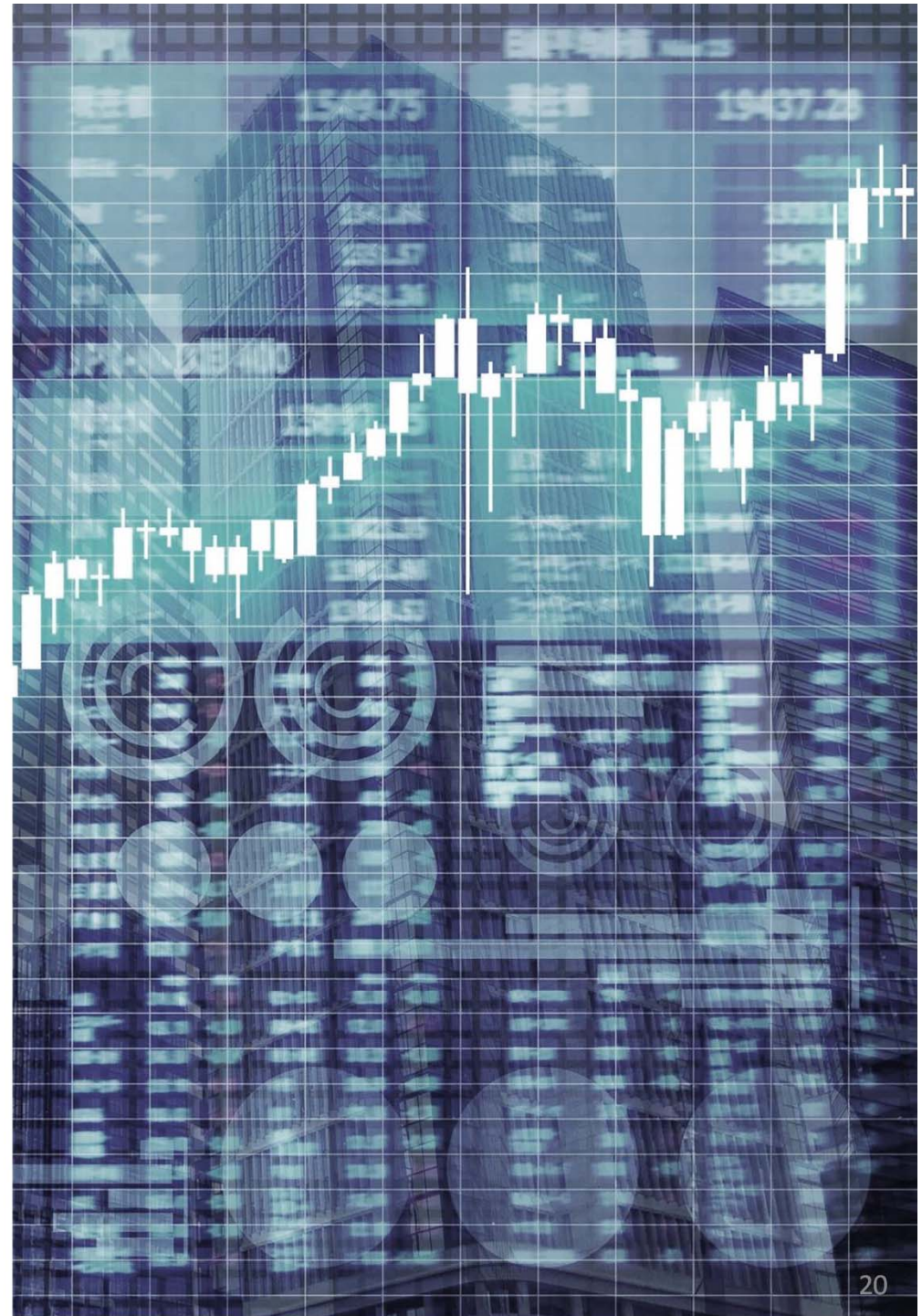
## 2023年3月期通期業績見通し(連結)

- ・ 原材料価格、エネルギーコスト等の先行きが不透明であることから、当初予想を据置

(百万円)	2022年3月期 通期実績	2023年3月期 通期見通し	前期比
売上高	64,399	83,200	+29.2%
営業利益	5,554	4,700	▲15.4%
経常利益	5,525	4,700	▲14.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,785	3,100	▲18.1%



## 5. 株式情報



# 株主還元

## 配当方針

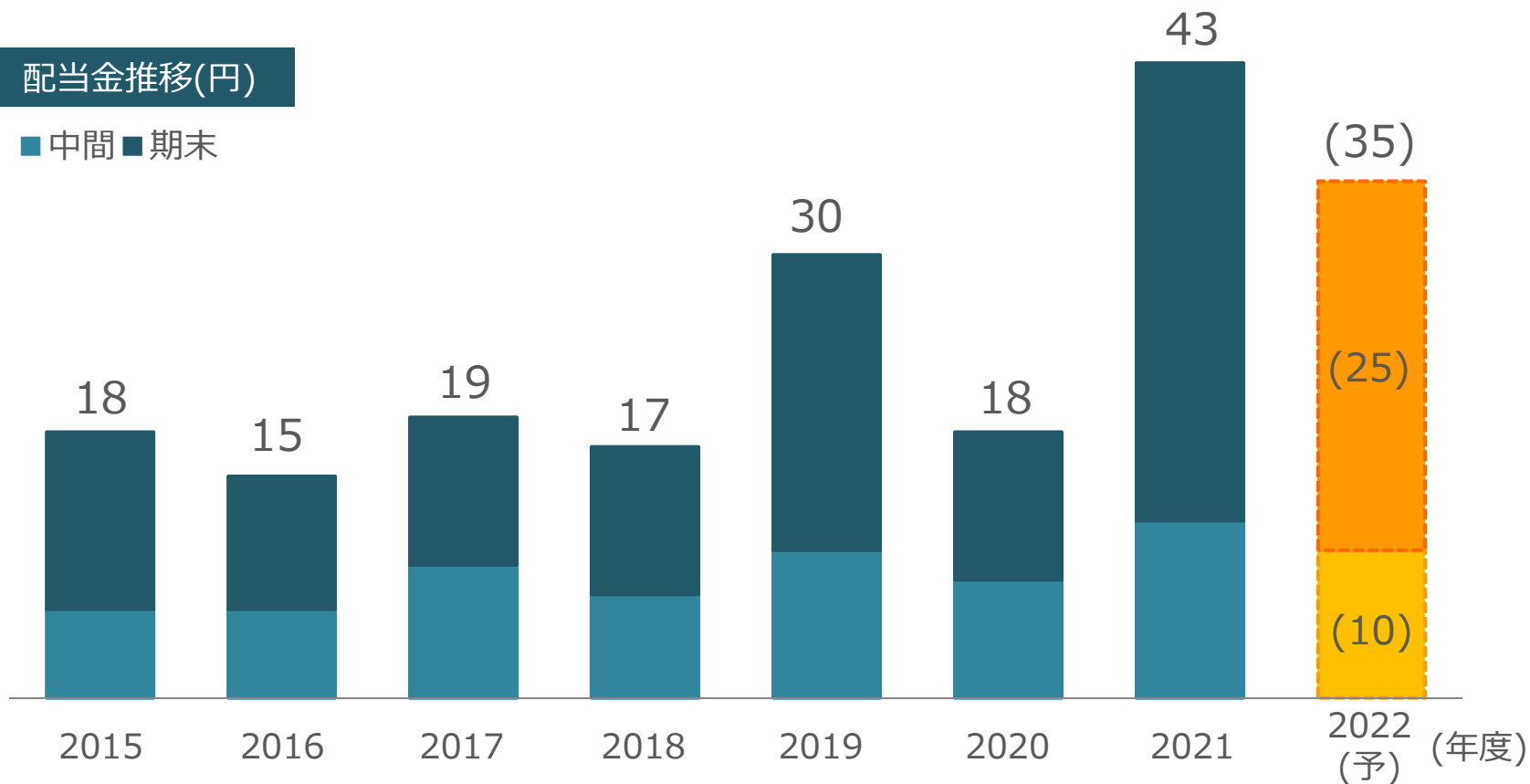
- ✓ 安定配当の継続
- ✓ 業績に見合った弾力的な配当の実施

## 配当性向

- ✓ 30%以上(21中期目標値)

### 配当金推移(円)

■ 中間 ■ 期末



### 連結配当性向(%)

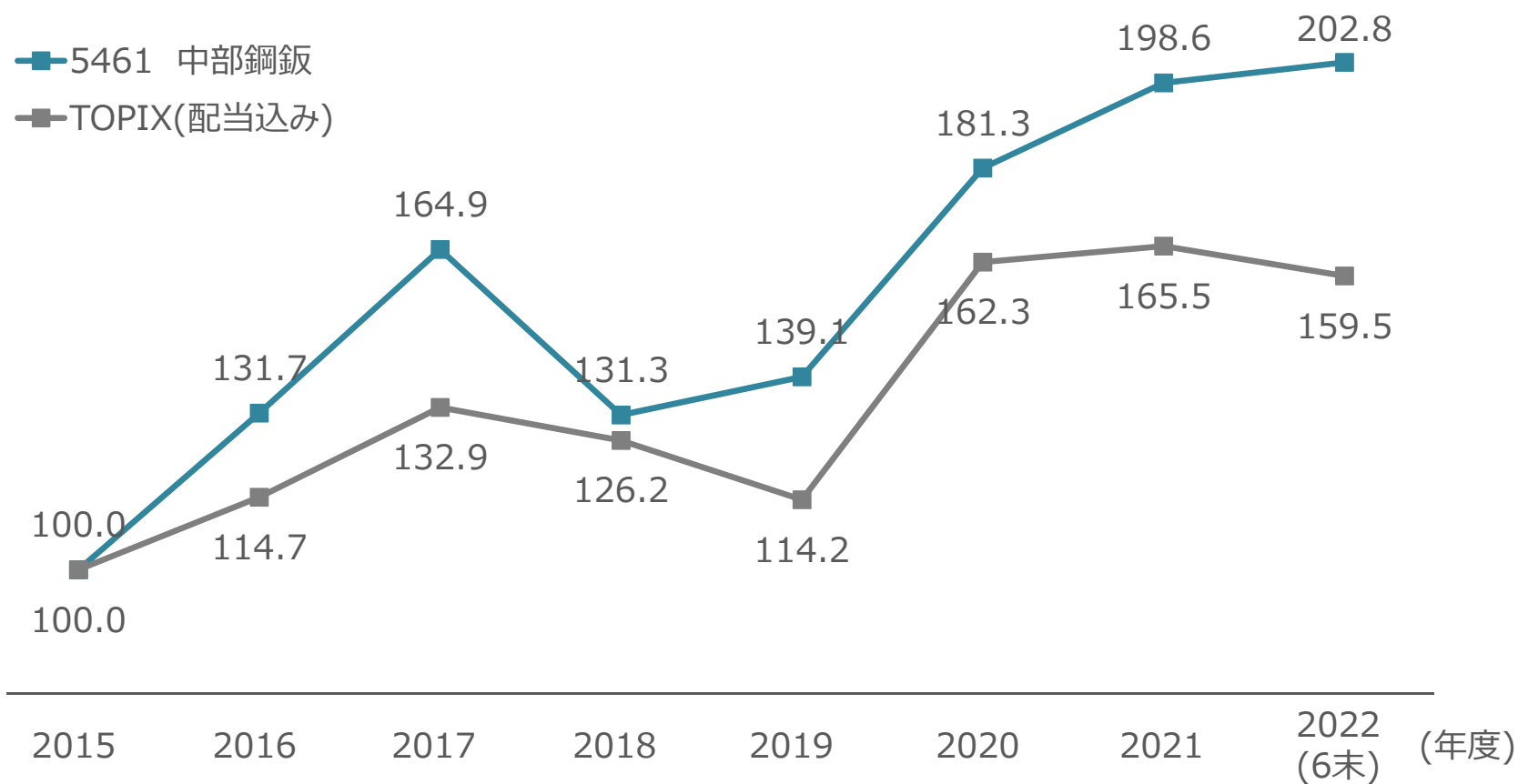
2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022 (予)
19.0	20.8	22.6	27.4	30.1	31.2	31.4	(31.2)



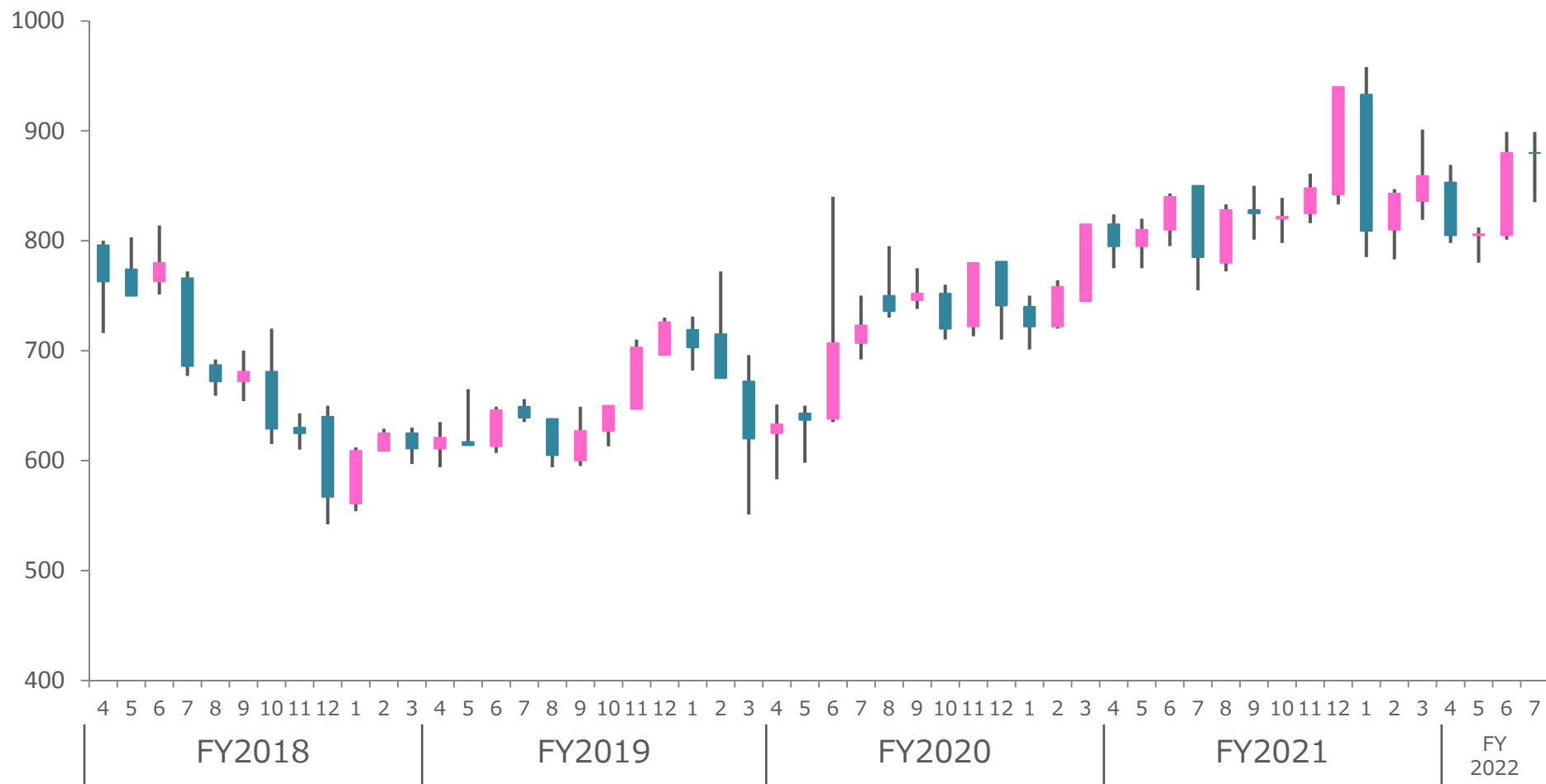
# 株主総利回り(TSR)

株主総利回り (%)

基準日：2015年度末 比較指標：配当込みTOPIX  
※2022年度のみ6月末時点で計算



# 株価の推移



株価 (8/19終値)	最低購入金額	2023年3月期 通期配当予想	予想配当利回り
885円	88,500円	35円	3.95%





あついい心で未来をつくります

<https://www.chubukohan.co.jp>

中部鋼鉄

検索





## 本資料お取扱上のご注意

本資料に含まれる将来の計画値、予測値等は説明会の時点で入手できる情報に基づいて判断したものであり、不確定要素を含んでおります。実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

したがって、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますよう、お願いいたします。また本資料を利用した結果として生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

